

競技規則並びに競技上の注意

1. 本大会は、2025年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則改訂版及び本大会の申し合わせ規則で行う。
2. 競技時間及び競技方法
 - ・ 競技時間は、25分－10分(休憩)－25分とする。
 - ・ リーグ戦で実施し、同点の場合も延長戦は行わない。順位の設定については次のとおりとする。
 - ①ポイント方式(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)とし、ポイント数の多いチームを上位とする。
 - ②同点チームが2チーム以上の場合は、次の(a)～(d)の順序で順位を設定する。
 - (a) 得失点差の大きいチームを上位とする。
 - (b) 総得点数の多いチームを上位とする。
 - (c) 同点チーム間での対戦結果の勝ちチームを上位とする。
 - (d) 抽選で設定する。
3. 試合球は(公財)日本ハンドボール協会の検定球(モルテン)を使用する。
4. 競技会場は次のとおりとする。

男子：ゼオンアリーナ周南 多目的ホール (40m×20m)

女子：トラックワンアリーナ (40m×20m)
5. 競技時間等の表示及び合図
 - ・ 公示時計(加算式)を使用し、試合終了の合図はブザー、チームタイムアウトの合図は大音量ホーンで行う。
 - ・ チーム名、得点の表示はスコアシート記載のAチームを左側、Bチームを右側とし、前後半での入れ替えはしない。
 - ・ 退場者の表示については、公示時計の退場者タイマーを使用する。入場に関しては、チームの責任で行うこと。
6. 試合への参加・出場は、役員4名以内、選手16名以内の計20名以内とし、監督(チーム責任者)は役員カード「A」、その他は「B」～「D」をつけなければならない。

※チーム役員以外のトレーナーは、競技中ベンチ外後方の指定された場所に着席すること。
7. トス及びユニフォームの確認等
 - ・ トス及びユニフォームの確認は、第1試合は競技開始30分前、第2試合以降は前の試合のハーフタイム時に、オフィシャル席前で行う。

- ・両チームの代表者はG KとC Pの全ての種類のユニフォームを持参するとともに、2025 年度登録証をテクニカルオフィシャル(T O)に提出すること。

8. 試合開始10分前、監督(チーム責任者)は、チーム役員の氏名・記号、選手の氏名・番号が公式記録用紙に正しく記載されていること、また、自チームのすべてのプレーヤーが、正しい服装や装具を身に着けていることを確認し、サインすること。

9. 選手の服装及び装具等

- ・アンダーウェアについては、ユニフォームの外に出るようであれば、アンダーシャツはユニフォーム(シャツ)に使用されている色と同色でなければならない。使用する際は、チームで統一した色とする。また、サイクリングパンツなどユニフォーム(短パン)の下に履くものはユニフォーム(短パン)の大部分を占めている色もしくは黒色でなければならない(混在可)。
- ・ソックスの色はチームで統一すること。(メーカーのロゴは問わない。)
- ・選手のハチマキは結び目より先を短くし、長い髪は危険のないように結ぶこと。金属やプラスチック製のピンは使用できない。
- ・プロミスリングは、外すか、テーピング等で覆うこと。
- ・アイマスクやコルセット・プロテクター等を身につけたい場合は、競技委員長の確認を受けた上で使用すること。コルセットは競技中はユニフォームの中に入れること。

※「2025 年度競技規則改訂版」の「服装や保護を目的とした装具に関する規定」を参照のこと。

10. チーム役員の服装については、スポーツウェアか平服を着用する。着用する服は相手チームのコートプレーヤーと、はっきり区別できる色であること。また、試合中は品位のある言動を心掛けること。

11. 当大会は、松ヤニ・松ヤニスプレー等の使用は認めない。ただし、両面テープのみ使用可とする。

12. チームタイムアウトは、グリーンカードをオフィシャル席に置いた(またはT Oが受け取った)のち、T O がホーンを鳴らした(あるいは笛を吹いた)時点で認める。

13. アリーナ内では、必ず体育館シューズを使用すること(内外兼用は厳禁とする)。

靴の履き替えについては、体育館フロア入り口で行うこと。

14. 試合前の練習は、前試合のハーフタイム時に、後半開始1分前まで競技会場を使用してもよい。ただし、第1試合の開始前の練習についてはこの限りではない。

※前試合の終了直後の駆け込みは厳禁。